

水産の窓

長期漁海況予報（令和5年8月～12月の予測）について

令和5年7月26日～27日に令和5年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報会議が開催され、予報対象海域に関係する水産関係試験研究機関が参加・検討し、国立研究開発法人水産研究・教育機構がとりまとめ、31日に公表されましたのでお知らせします。予報内容の詳細については本文を参照ください。（予報本文 URL：<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2023/files/20230731press-iwashi.pdf>）

1. 海況

(1) 黒潮（潮岬以東）

- ・大蛇行が継続し、A型基調で推移する。
- ・蛇行北上部は、概ね伊豆諸島海域の西側に位置する。
- ・房総沖では、接岸傾向で推移するが、一時的に離岸する。

(2) 鹿島灘～常磐南部海域

- ・黒潮から暖水が波及しやすい。

(3) 沿岸水温

- ・房総海域～常磐南部海域は、「平年並」～「高め」で推移する。

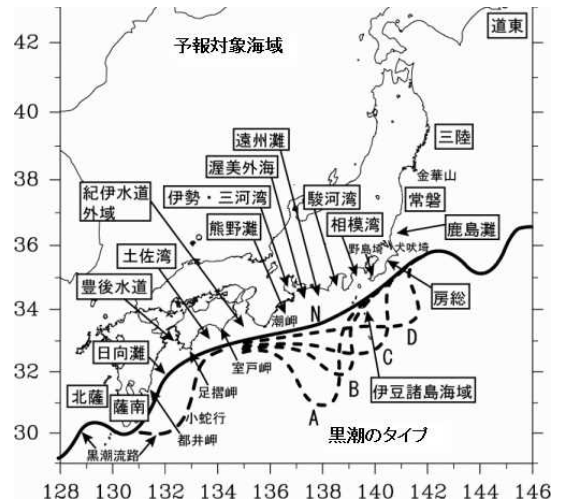


図. 予報対象海域および黒潮の流型

2. 漁況

(1) マサバ・ゴマサバ（犬吠～三陸海域、道東海域：まき網、定置網、底曳網）

- ①来遊量：マサバ1歳魚は前年並。2歳魚は前年を上回る。3歳魚は前年を下回る。4歳魚は前年を下回る。5歳魚は前年を上回る。6歳魚は前年並。マサバ全体としてはまき網では低調であった前年並。ゴマサバは混獲される程度。サバ類全体としては低調であった前年並。
- ②漁期・漁場：定置網、底曳網では期を通じて漁獲される。まき網漁場は、8月～10月は道東～三陸北部海域、11月～12月は三陸北部～常磐海域に主に形成される。
- ③魚体 [尾叉長]：マサバは25cm～36cm（3歳以上、体重160g～550g）主体に、18cm～32cm（1歳魚、2歳魚、50g～360g）も漁獲される。

(2) マイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ①来遊量：前年並。
- ②漁期・漁場：まき網は、8月～10月は道東海域が主漁場となり、房総海域は小規模な漁場形成となる。11月～12月には三陸海域に散発的な漁場が形成される。定置網は、各地で期を通じて散発的に漁獲されるが、12月以降に本格化する。
- ③魚体 [被鱗体長]：9cm～14cm前後の0歳魚（体重10g～35g）、14cm～18cm前後の1歳魚（35g～70g）、15cm～18cm前後の2歳魚（40g～70g）、16cm～20cm前後の3歳魚（50g～100g）、18cm以上の4歳魚（70g～）が漁獲される。

(2) カタクチイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ①来遊量：房総海域では前年並～上回る。三陸海域では前年を上回る。道東海域では主たる漁獲対象とならない。
- ②漁期・漁場：三陸海域の定置網および2そうまき網、房総海域の2そうまき網は期を通じて漁獲される。道東海域、常磐～房総海域の1そうまき網の主な漁獲対象にはならない。
- ③魚体 [被鱗体長]：6cm～11cmの0歳魚（2g～12g）、7cm～14cmの1歳以上（3.5g～25g）が漁獲される。（回遊性資源部）

[次号予告] R5. 8. 10発行の「水産の窓」は「令和5年8月の海況と今後の予測」を予定しています。